

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度目標	平成29年度取組結果	内部評価	実施課	外部評価	コメント
【第一の柱】 医療スタッフの 人材確保と育成	医師の増員	常勤医師の増員	平成27年度～	平成30年4月1日現在 常勤医師 75人	平成30年4月1日現在 常勤医師 72人 ※昨年同期に比べて2名の増員	B	病院総務課		
		初期臨床研修医の受入枠の拡充	平成27年度～	初期研修医 1名以上確保	平成29年度は4人の初期臨床研修医に対しての研修を実施し修了した。平成30年度より5人の初期臨床研修医の研修を開始する。	A	教育研修・病院事業管理室		
		指導医及び専門医の資格維持及び取得の支援	平成27年度～	指導医・専門医の資格取得・更新	各学会・研修会等への参加の支援 (67名、延べ301件)	A	教育研修・病院事業管理室		
	医学生修学資金貸与制度の創設と活用	医学生修学資金貸与制度の創設と活用	平成27年度	新規 4名に貸与	平成29年度貸与人数 継続9人、新規6人 貸与合計数15人 1年生2人、2年生3人、3年生2人、4年生1人、5年生2人、6年生5人	A	教育研修・病院事業管理室		
	医師の研究・技術向上の支援	医師教育研究制度を活用し関連医局で医療技術の知識や技術の習得	平成27年度～	研究制度の活用 昨年度（21回）以上の活用	平成29年度 制度活用 延べ35回	A	病院総務課		
		シミュレーション機器の購入・充実	平成27年度	平成27年度整備終了	-	-	教育研修・病院事業管理室	-	-
		医師事務作業補助者（医療秘書）の増員	平成27年度～	医師事務作業補助者の増員 平成27年4月1日現在 18人	平成29年4月1日現在 22人 平成30年3月31日現在 22人 29年度内に1人の増員を行ったが、1人退職したため、22人となった。 医療秘書室の医師作業補助業務量に配慮しつつ、医療秘書の募集を行った。	A	医事課		
	リクルート活動の強化	関連医局との連携強化	平成27年度～	関連大学（慶應義塾大学、浜松医科大学、東海大学、北里大学）への訪問を実施	慶應義塾大学、浜松医科大学、藤田保健衛生大学、東海大学、北里大学への訪問（延べ20回）を実施。	A	教育研修・病院事業管理室		
		幅広い人材募集・確保	平成27年度～	紹介件数 10件 採用 1名以上	9社の斡旋会社と契約締結 紹介件数 12件 医師1名の採用内定（採用時期は平成30年4月1日）	A	教育研修・病院事業管理室		
	組織の設置と医療スタッフの育成	医療の質の向上と医療スタッフの育成による院内活性化	平成27年度～	医療情報収集や分析 院内臨床指標の作成や公開 院内研修等の企画実施	・医療情報の収集・分析 DPCデータや市内公的病院の患者数等の分析を四半期毎に実施している。 ・臨床指標の作成公開 平成28年度分は、平成30年3月に公開した。 ・院内研修 BLS（一次救命処置）、NCP R（新生児蘇生法）を毎月実施した。 ・その他 eラーニングを利用し、医療技術や臨床手技について質の高い医療を目指した育成を実施。	A	教育研修・病院事業管理室		
女性医師・看護師等の就労支援と離職防止	院内保育所の機能充実策の検討	平成27年度～	利用者増加への対応策の検討及び実施	保育所2階の居室を保育室に改修する工事が完了し、必要備品等の整備も完了済。 また、受託業者の変更等により保育機能の拡充等は進んでいない。	B	病院総務課			

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度 目標	平成29年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	職場環境改善に関するアンケートの実施	看護職員に対して職場環境改善に関するアンケートを、退職予定者には退職理由のアンケートを行い、現状把握をしたうえで、勤務体制や処遇改善等の離職防止改善策を検討し、離職率を抑える。	平成27年度～	・アンケート調査結果（休暇の取得、上司との人間関係）を踏まえて、職場環境の改善を実施する ・離職率10%以下	有給休暇の取得促進及びヒアリングを実施した結果、離職率は6.5%となる。	A	看護部 教育研修・病院事業管理室		
	離職した看護師への声かけ	離職した看護師に対し積極的に声かけをおこない、再就職を促すとともに、勤務時間の自由がきくパート看護師の確保を進めていく。	平成27年度～	離職した看護師への働きかけの拡充	県看護協会主催の合同就職相談会に参加し、再就職の啓発活動を行った。	A	看護部 教育研修・病院事業管理室		
	看護職員の負担軽減	看護職員の負担軽減のために、看護補助員の業務を明確化するとともに、継続的に増員を図る。	平成27年度～	看護補助員の増員	ハローワークへの求人登録、当院HPへの募集掲載を通年実施。 平成30年3月末 現在 47名 (H29年4月以降採用5名、退職1名) 平成30年4月1日現在 45名	A	病院総務課		
	看護師や助産師の確保と育成	清水看護専門学校での学生の実習を積極的に受け入れる。	平成29年度～	看護学生臨地実習の受け入れ	1年生：40人 2年生：42人 3年生：40人 各学年の臨地実習を実施	A	看護部 教育研修・病院事業管理室		
病棟薬剤師の配置	病棟薬剤師の配置	薬物療法の高高度化が進み、医療の質の向上や医療安全の観点から病棟薬剤師の配置が必要となっている。入院患者への服薬指導や処方薬管理の充実を図り、副作用発見、服薬に関連した事故防止、医師・看護師の負担軽減のために、各フロア1名の病棟薬剤師を配置を目指していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5名の配置 薬剤師数（目標） H27.4.1現在 19人 H30.4.1現在 25人	平成30年4月1日現在 薬剤師数24人 ※平成29年度中に3回の採用試験を実施したが、退職者が1名あったことにより、目標値に達しなかった。 ※増員計画はH27.4.1時点で19名の薬剤師を計画的に増員し、H30.4.1時点までに25人とする計画	B	病院総務課		
リハビリテーションスタッフの増員	リハビリテーションスタッフの増員	平成27年4月に、回復期リハビリテーション病棟の機能強化、急性期リハビリテーションの拡充、及び地域包括ケア病棟の設置に必要なリハビリテーションスタッフを確保していく。	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員（2名） H27.4.1現在 26人 H30.4.1現在 33人	平成29年度の採用試験にて平成30年4月1日付けで2名を採用（理学療法士1名、言語聴覚士1名） (各年4月1日時点職員数) H26 H27 H28 H29 H30 P T 11 13 15 16 17 O T 6 8 9 9 9 S T 3 5 5 6 7 計 20 26 29 31 33 ※平成31年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 2人）	A	病院総務課		
研修の充実	研修の充実	研修会等への参加、学会での演題等の発表を促し、指導医及び専門医などの各種資格取得を支援する。	平成27年度～	研修会への参加、学会発表の支援	各学会での症例発表を行う場合のポスター作製などの準備及び旅費、参加費等のサポートを実施。 平成29年度の学会発表件数 (67名、延べ301件)	A	教育研修・病院事業管理室		
	認定看護師や認定薬剤師等スペシャリストの資格取得及び育成の支援	高度専門化が進む医療現場において、医療の質向上のために認定看護師や認定薬剤師等スペシャリストの資格取得及び育成を支援する。主に集中治療室やがん分野など、当院に必要な専門分野の認定看護師を、計画的に育成する。また、資格が効果的に発揮できる機会提供と配置を行うことで職員のモチベーションの向上に繋げるとともに、院内研修等の様々な活動を通じて職員全体のスキルアップを図っていく。	平成27年度～	認定看護師・認定薬剤師の資格取得 1名以上	H29.7月に認定看護師資格取得1名（集中ケア） その他「救急看護認定看護師」の養成学校へ派遣（平成30年度に取得予定）1名	A	教育研修・病院事業管理室 病院総務課		
	患者サービスの向上と働きやすい環境づくり	患者サービスの向上、働きやすい環境、区民に対しての情報発信、また経営などについて、広く職員で意識を共有し、委託職員を含む病院で働く全職員の接遇や改善に関する意識を高めていく。	平成27年度～	接遇改善に関する事業の実施	今年度の接遇改善に関する事業は、全体では未実施だが、一部の部門で実施。 また、院内に設置しているご意見箱に寄せられた意見を、院内会議に報告、対応している。	C	病院総務課	B	各部門における接遇が実施され、結果として満足度調査における目標が達成されている。
	研修体制の充実	事務職員のスキル向上のため研修体制の充実を図る。	平成29年度～	各種研修会の開催	・7月26日、7月28日会計事務研修会開催（16名、8名参加） ・8月4日予算編成事務研修会を開催（7名参加） ・平成30年3月19日診療報酬改定説明会開催 ・危機管理研修会（個人情報保護に関する研修）を実施	A	病院総務課 病院施設課 医事課		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度 目標	平成29年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
【第二の柱】 「病床機能の再編と機能の強化」	急性期病床の機能強化	集中治療室の充実	平成29年度～	病床利用率 集中治療室 70.0%	病床利用率 集中治療室 68.9% ※過去の集中治療室の病床利用率 H27 57.1% H28 65.9%	B	医事課		客観性が保たれるのであれば、サービスの質や内容を含めた目標とすること。
		病診連携・病病連携の推進	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 56.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 57.7% 逆紹介率 96.2%	A	医事課 地域医療支援室		
		高度医療機器の整備	平成27年度～	医療機器等の更新・新設等	平成29年度末医療機器等の更新・新設等 合計 116件 (内訳) 新規46件、更新49件、増設21件	A	病院施設課		
	回復期リハビリテーション病棟の機能強化	早期リハビリテーションの実施	平成29年度～	病床利用率 回復期リハビリテーション病棟 88.0%	病床利用率 回復期リハビリテーション病棟 87.7% ※過去の回復期リハビリテーション病棟の病床利用率 H27 82.2% H28 79.3%	B	医事課		客観性が保たれるのであれば、サービスの質や内容を含めた目標とすること。
		リハビリテーションスタッフの増員（再掲）	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員（2名） H27.4.1現在 26人 H30.4.1現在 33人	平成29年度の採用試験にて平成30年4月1日付けで2名を採用（理学療法士1名、言語聴覚士1名） (各年4月1日時点職員数) H26 H27 H28 H29 H30 P T 11 13 15 16 17 O T 6 8 9 9 9 S T 3 5 5 6 7 計 20 26 29 31 33 ※平成31年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 2人）	A	病院総務課		
	地域包括ケア病棟の設置と機能強化	地域包括ケア病棟の充実	平成27年度～	病床利用率 地域包括ケア病棟 82.0%	病床利用率 地域包括ケア病棟 82.3%	A	医事課		客観性が保たれるのであれば、サービスの質や内容を含めた目標とすること。
		在宅復帰に向けた支援	平成27年度～	在宅復帰率 70%	在宅復帰率 93.1%	A	医事課		
	センター化の推進	センター化の推進	平成28年度～	入退院支援センターを設置	入退院支援センターを平成29年10月10日に開設 (呼吸器センターを平成29年4月1日に開設)	A	病院総務課 病院施設課 医事課		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度 目標	平成29年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント																					
【第三の柱】 「地域連携の推進と安心・安全な医療の提供」	地域連携の推進	紹介率の向上	地域医療支援病院としての機能を維持・強化し、紹介率を向上させる。	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 56.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 57.7% 逆紹介率 96.2%	A	医事課 地域医療支援室																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>55.0</td> <td>56.0</td> <td>57.0</td> <td>58.0</td> <td>59.0</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	H31	H32	H33	紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5						
			H28	H29	H30	H31	H32	H33																						
		紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0																						
	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5																							
	病診連携の推進	医師会との定期的な協議会の開催、オープンシステムの推進、地域連携バスの運用、研修会等の周知などにより、病診連携を推進する。	平成27年度～	協議会の開催（年1回）	平成29年7月12日 清水医師会 清水病院 病診連携協議会開催(医師会7名、当院10名の医師 他計29名参加)	A	地域医療支援室																							
	地域の医療機関との連携	地域の医療機関と連携を強化し、退院患者のケア情報や地域の介護・福祉施設等の状況など幅広い情報の交流に努める。	平成27年度～	関係機関との情報交換会の実施（年2回）	第1回清水病院医療・介護・福祉連携協議会を平成29年7月20日に開催（院外委員7名、院内委員等14名計21名参加） 第2回清水病院医療・介護・福祉連携協議会を平成30年1月29日に開催（院外委員6名、院内委員等12名計18名参加）	A	地域医療支援室																							
	医療ソーシャルワーカーの増員	退院支援など医療福祉相談業務を強化し、患者の在宅復帰への促進を図るため、医療ソーシャルワーカーを増員する。	平成27年度～	組織体制・人員体制の整備 平成27年4月 9名（兼務2名）	平成30年4月1日現在 医療ソーシャルワーカーは10名（兼務2名） 体制	A	病院総務課 医事課																							
	医療安全対策の実施	安心・安全な医療提供	院内のインシデント・アクシデントや院外からの有用な情報などを収集・分析・活用し、医療スタッフへ迅速にフィードバックすることによって、より安心・安全な医療を提供していく。	平成27年度～	定期的な医療安全管理委員会の開催	医療安全管理委員会：11回開催 （月1回〔8月除く〕開催） 医療安全カンファレンス： 医療安全管理室 12回開催 看護部 40回開催	A	医療安全管理室																						
		患者の安全確保	患者の安全確保のために、医療スタッフ個人レベルでの事故防止、組織全体としてシステム改善に取り組んでいく。また、医療安全指針やマニュアルについて、定期的に見直しを図っていく。	平成27年度～	安全な医療のための文書集等の見直し	法規則改正等を踏まえた医療安全管理指針の改定、各種要綱の改正を実施 医療安全管理マニュアル等の改訂を実施	A	医療安全管理室																						
医療安全に関する研修会の開催		医療安全に関する研修会を定期的を開催し、職員の医療安全に対する意識をさらに高めていく。	平成27年度～	医療安全研修会の開催	全職員対象 : 3回開催 新入職員対象 : 9回開催 看護師希望者 : 5回開催 職員希望者 : 4回開催	A	医療安全管理室																							
院内感染防止対策の実施	院内感染防止対策の推進	様々な職種の職員で組織するチーム（ICT：感染制御チーム）で、臨床、施設設備など院内の環境チェックや感染防止対策の実施状況の確認などを行い、組織全体で情報の共有を図り、院内感染防止対策を推進していく。	平成27年度～	委員会開催（毎月） ICTによる院内巡回	委員会・・・月1回（12回開催） ICT巡回・・・5チームが月1回約2部署を巡回（44部署巡回済）	A	院内感染防止対策室																							
	全職員を対象とした感染防止対策に関する研修会の開催	全職員を対象に、地域の医療関係者も招いて毎年研修会を開催し、院内感染防止対策の基本的考え方や最新の具体的方策について共に学び、地域全体として安全な医療を提供できるよう、院内感染の防止に努めていく。	平成27年度～	感染防止対策研修会の開催（年3回）	年3回の研修会を予定 第1回を5月に開催（290名参加） 第2回を9月に開催（252名参加） 第3回を3月に開催（171名参加） ※研修会に参加できなかった職員向けビデオ上映又は資料研修を実施	A	院内感染防止対策室																							
災害拠点病院としての医療体制の充実	DMAT（災害派遣医療チーム）の登録	DMAT（災害派遣医療チーム）もう1チームの登録追加を目指す。	平成27年度～	登録追加に向けた新規メンバーの登録	H29.4 医師、看護師、ロジ各1名及びH29.9 看護師1名を日本DMAT隊員として新たに登録した。 H29.3.31 13名（医師3、看護師6、ロジ4） H29年度末において2チームを構成することが可能	A	病院総務課																							
	市民と協働での地域防災訓練の実施や市民への啓発活動の実施	市民と協働での地域防災訓練や市民への啓発活動を実施することで、発災時の自助・共助・互助の精神を養う。	平成27年度～	各種防災訓練の実施	災害医療及びトリアージに係る市政出前講座6回実施 H29.12.3 院内防災訓練実施（災害対策本部立上、トリアージ訓練）	A	病院総務課																							

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度 目標	平成29年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント																		
	患者満足度の向上	患者さんによる医療サービスに対する評価、要望の把握	平成27年度～	患者満足度アンケート調査の実施 目標満足度 外来 4.00点以上 入院 4.00点以上 (5.00点満点)	外来 実施期間：平成29年11月13日～11月17日 点数：4.17点 入院 実施期間：平成29年11月13日～12月13日 点数：4.25点	A	医事課																				
	医療情報の発信	市民健康講座の開催	平成27年度～	市民健康講座の開催（年3回）	第1回「あなたのお口は健康ですか？」を開催（7月29日）（185名参加） 第2回「知っておきたい呼吸器の病気」を開催（11月18日）（171名参加） 第3回「脳外科医が診る脳の病気と最新治療」（2月24日）（240名）	A	病院総務課 医事課																				
【第四の柱】 「病院施設の維持と機能向上」	病棟の改修	施設改修による入院環境の改善 経年劣化による漏水等の事故が発生しており、病棟の給排水設備の改修が急務となっている。そのため、一病棟を休床しながら計画的に順次病棟改修を行っていく。あわせて、病棟の内装を更新し、入院環境の改善による患者サービスの向上を図る。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>2棟改修</td> <td>1棟改修</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実施設計						1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修	平成27年度～	3階2病棟の改修	平成30年2月に3階2病棟の改修完了	A	病院施設課		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																					
	実施設計																										
	1棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	2棟改修	1棟改修																					
	病院施設の機能向上	病院施設の機能向上	病棟の改修にあわせて、施設の機能向上を図りサービスの向上を図る。 平成29年度産婦人科病棟の改修にあわせて、個室分娩（LDR）を導入する。	平成29年度～	LDR室の整備	平成30年2月に産婦人科病棟（3A病棟）にLDR室（4室）の整備完了	A	病院施設課																			
施設の長寿命化	施設の長寿命化	予防保全による老朽化対策で、無停電電源装置（CVCF）・外壁・屋上防水の改修等を行い、建物の長寿命化を図る。	平成27年度～	南棟屋上防水工事の実施	平成30年3月に南棟屋上防水工事の完了。外壁（光庭部）改修については、平成30年度北棟屋上防水完了後、平成31年度から行う。	A	病院施設課																				
駐車場の確保と整備	駐車場の確保と整備	第一駐車場を含めた駐車場の在り方については、今後の患者数の動向を見ながら検討していく。	平成29年度～	駐車場整備の検討	来院者の駐車場利用状況を確認し、現在のところ駐車台数は確保されており、渋滞等の問題は解消されている。	A	病院施設課																				
【第五の柱】 「収支の改善」	【第一の柱】「医療スタッフの人材確保と育成」による効果（再掲）	常勤医師の増員	平成27年度～	平成30年4月1日現在 常勤医師 75人	平成30年4月1日現在 常勤医師 72人 ※昨年同期に比べて2名の増員	B	病院総務課																				
		リハビリテーションスタッフの増員	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員（2名） H27.4.1現在 26人 H30.4.1現在 33人	平成29年度の採用試験にて平成30年4月1日付けで2名を採用（理学療法士1名、言語聴覚士1名） （各年4月1日時点職員数） H26 H27 H28 H29 H30 PT 11 13 15 16 17 OT 6 8 9 9 9 ST 3 5 5 6 7 計 20 26 29 31 33 ※平成31年4月1日付けで3名の採用を予定（PT 1人、OT 2人）	A	病院総務課																				

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成29年度 目標	平成29年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント	
	薬剤師の増員	薬剤師の増員を目指し、各フロア1名の病棟薬剤師を配置していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5名の配置 薬剤師数(目標) H27.4.1現在 19人 H30.4.1現在 25人	平成30年4月1日現在 薬剤師数24人 ※平成29年度中に3回の採用試験を実施したが、退職者が1名あったことにより、目標値に達しなかった。 ※増員計画はH27.4.1時点で19人の薬剤師を計画的に増員し、H30.4.1時点までに25人とする計画	B	病院総務課			
	【第二の柱】「病床機能の再編」による効果	病棟専従者の配置	リハビリテーションスタッフなどの病棟専従者の配置により、診療収入の増を図る。	平成27年度～	当初2名の配置であった地域包括ケア病棟のリハビリテーションスタッフを3名の増員(平成28年4月1日付)により配置完了	-	医事課 病院総務課	-	-	
	病棟の機能分化及び連携	地域住民が地域において必要な医療を適切に受けられるよう、高度急性期から一般急性期や回復期、さらに在宅復帰を支援する病床に再編し、病棟ごとに機能分化及び連携させることで、病床を効果的に運用し、各病棟の病床利用率をあげていく。	平成27年度～	病床利用率 一般病棟 75.0% 集中治療室 70.0% 回復期リハビリ病棟 88.0% 地域包括ケア病棟 82.0%	病床利用率 一般病棟(H27 67.3% H28 70.6%) 73.4% 集中治療室(H27 57.1% H28 65.9%) 68.9% 回復期リハビリ病棟(H27 82.2% H28 79.3%) 87.7% 地域包括ケア病棟(H27 66.3% H28 78.4%) 82.3% ※ ()内は過去の実績	B	医事課		客観性が保たれるのであれば、サービスの質や内容を含めた目標とすること。	
	他の医療機関からの受入(再掲)	他の医療機関からの急性期後の患者や在宅患者を積極的に受け入れ、患者増に繋げていく。	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 56.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 57.7% 逆紹介率 96.2%	A	医事課			
	医療機器の更新・増設(再掲)	地域の基幹病院としての機能を強化し、地域医療ニーズに応えるために、高度医療機器を計画的に更新・増設する。MRI増設などにより、収入増に繋げていく。	平成27年度～	医療機器等の更新・新設等	平成29年度末医療機器等の更新・新設等 合計 116件 (内訳) 新規46件、更新49件、増設21件	A	病院施設課			
	【第四の柱】「病院施設の維持と機能向上」による効果(再掲)	病院施設の機能向上	産婦人科病棟の改修にあわせてLDR室を整備し、個室分娩を可能にするとともに、安心安全快適な出産を提供し患者サービスの向上を図ることで、分娩件数を増やし収益増に繋げていく。	平成29年度～	LDR室の整備	平成30年度2月に産婦人科病棟(3A病棟)にLDR室(4室)の整備完了	A	病院施設課		
	材料費の削減	実態の把握と使用ルールの徹底	材料等の破損・廃棄薬品などの実態を把握し、使用ルールの徹底によるコスト削減を図る。	平成27年度～	材料費の削減 材料費比率23.1%	平成29年度末 材料費比率23.1% (C型肝炎新薬影響を除いた材料費率：21.8%)	A	病院施設課		
		後発医薬品の採用の推進	後発医薬品の採用を推進し、薬品費の削減を図る。	平成27年度～	後発品置換え率80%(入院医療)	平成29年度末 後発品置換え率83.1%(入院医療)	A	病院施設課		
	未収金対策の強化	収納率の向上	徴収員や徴収委託会社による滞納抑制を図るとともに、新たな収納方法を検討する。	平成27年度～	第3次行財政改革前期実施計画の収納率 (現年) 99.04% (過年) 9.16%	収納率 現年 過年 H29実績 99.28% 8.67% ※過去の収納率の状況 H27年度 98.89% 9.31% H28年度 99.26% 9.28%	B	医事課		
	適正な診療報酬の請求	診療報酬算定項目の確認	診療報酬算定可能な項目のシステムチェックや対象リストによる確認等を実施し増収を図る。	平成27年度～	保険委員会によるチェックの実施	毎月1回(各月第4火曜日)保険委員会を開催(12回)	A	医事課		
	業務に精通した職員の採用の検討	医事担当職員は高度な専門的な知識や医師との情報共有が求められるため、業務に専任可能で精通した職員の採用を検討する。	平成27年度～	専門職員の採用方針の検討	平成30年4月1日付けでは診療情報管理士の採用を行わなかった。今後の専門職員の必要性について引き続き検討する。	B	病院総務課			

収支改善目標

(1) 医療スタッフの増員目標

(単位：人)

指標	H29計画	H29実績
医師	75	72
薬剤師	25	24
リハビリテーション	33	33

(2) 入院収益の目標 (病棟別)

①一般病棟

指標	H29計画	H29実績
病床数	390	390
病床利用率 (%)	75.0	73.4
年間患者数	106,810	104,258
入院単価 (円)	55,300	51,894
診療収入 (千円)	5,907,000	5,410,415

②集中治療病棟

指標	H29計画	H29実績
病床数	6	6
病床利用率 (%)	70.0	68.9
年間患者数	1,540	1,508
入院単価 (円)	94,000	93,743
診療収入 (千円)	145,000	141,364

③回復期リハビリテーション病棟

指標	H29計画	H29実績
病床数	44	44
病床利用率 (%)	88.0	87.7
年間患者数	14,100	14,081
入院単価 (円)	29,600	27,201
診療収入 (千円)	417,000	383,015

④地域包括ケア病棟

指標	H29計画	H29実績
病床数	35	35
病床利用率 (%)	82.0	82.3
年間患者数	10,470	10,518
入院単価 (円)	32,200	32,344
診療収入 (千円)	337,000	340,198

(3) 外来収益の目標

指標	H29計画	H29実績
診療日数 (日)	243	244
外来患者数 (人)	194,350	176,824
外来単価 (円)	13,134	12,510
診療収入 (千円)	2,553,000	2,212,086

(4) 材料費の目標

指標	H29計画	H29実績
材料費率	23.1	23.1
薬品比率	14.7	12.9
診療材料比率	8.2	10.0

(5) 紹介率・逆紹介率

指標	H29計画	H29実績
紹介率 (%)	56.0	57.7
逆紹介率 (%)	87.5	96.2